



【先週 10月3日～10月9日の外食の出来事】

■ワタミ、感染防止に月1000万 接客全員に抗原検査を2週に1度

ワタミ株式会社が、「ワタミ安心宣言」として新型コロナウイルス感染防止対策に月間1千万円を投じる。接客担当従業員全員への抗原検査、CO2濃度測定、全テーブルに消毒液設置など9項目を徹底させる。

■あみやき亭、7～9月最終黒字3億9400万円 時短協力金で

2021年7～9月期の決算は、最終損益が3億9400万円の黒字(前年同期は1億3400万円の赤字)だった。新型コロナウイルスの感染「第5波」の影響で客足が落ち込んだが、時短営業に伴う協力金を受け取り最終損益は改善した。

■銀だこホットランド、「日本再生酒場」「もつやき処い志井」買収

株式会社ホットランドが、「日本再生酒場」及び「もつやき処い志井」を子会社化する。株式会社日本再生酒場及び株式会社もつやき処い志井は、「もつやき・ホルモン・焼肉」事業を首都圏に直営11店舗展開している。

■壺番屋の21年3～8月期、純利益2.2倍

2021年3～8月期の連結決算で、純利益は前年同期比2.2倍の15億2000万円となった。2022年2月期通期の純利益予想は据え置いた。純利益は前期比61.8%増の28億1000万円を見込む。

■トリドールHD／香港孫会社が香港証券取引所へ上場

トリドールは、孫会社であるTam Jai International Co.Limited(TJI)が同日、香港証券取引所のメインボードへ上場した。TJIは、2018年からグループ会社となり、その後、業容を拡大し成長してきた。

■銀座おのぞら、新業態 廻転鮓 立喰鮓店 オープン

ONODERは、新業態「廻転鮓 銀座おのぞら本店」と「立喰鮓 銀座おのぞら本店」を表参道にオープンする。今回、従来の「銀座おのぞら」のDNAを受け継ぎつつ、より気軽かつリーズナブルに楽しめる新業態2店舗をオープン。

■ダイニングイノベーション、スープ春雨「七宝麻辣湯」のFCライセンス権を取得

株式会社ダイニングイノベーションが、スープ春雨専門店「七宝麻辣湯(チーパオマーラータン)」の日本国内におけるマスターライセンス契約を締結した。FC化ノウハウ取得のため11月東京・池袋に自社で出店予定。

■丸井、植物肉レストラン誘致へ

ファッションビルを展開する株式会社丸井グループが、大豆由来の植物肉「ミラクルミート」を開発するスタートアップであるDAIZ株式会社と資本業務提携契約を締結した。丸井は、ビルの集客力を高めることが目的。

■ぐるなび、17億円調達 SMBC キャピタル・パートナーズより

ぐるなびが、三井住友銀行の子会社のSMBCキャピタル・パートナーズへ第三者割当増資により17億円を調達。用途は、飲食店支援の強化に係る設備資金9億51百万円、運転資金6億51百万円。